



2022年8月10日

各 位

会社名： サツドラホールディングス株式会社
代表者名： 代表取締役社長 兼 CEO 富山 浩樹
(コード：3544 東証プライム・札証)
問合せ先： 経営管理グループ グループリーダー
加賀谷 大輔
(TEL. 011-788-5166)

上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について

当社は、2021年12月17日に、プライム市場の上場維持基準への適合に向けた計画を提出し、その内容について開示しております。2022年5月15日時点における計画の進捗状況等について、下記のとおり作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況の推移及び計画期間

当社の2022年5月15日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況はその推移を含め、以下のとおりとなっており、流通株式時価総額については基準を充たしておりません。流通株式時価総額及び今回報告対象外の1日平均売買代金については、2024年5月期には上場維持基準を充たせるように引き続き各種取り組みを進めてまいります。

		流通 株式数※3	流通株式 時価総額	流通株式比率	1日平均 売買代金※4
当社の 適合状況 及び その推移	2021年6月30日時点 ※1 (移行基準日時点)	22,850 単位	49 億円	48.1%	0.15 億円
	2022年5月15日時点 ※2	74,038 単位	49 億円	52.0%	-
上場維持基準		20,000 単位	100 億円	35.0%	0.2 億円
当初の計画に記載した計画期間		-	2024年5月期	-	2024年5月期
2022年5月15日時点の適合状況		○	×	○	-

※1 東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分析状況等をもとに算出を行ったものであります。

※2 東京証券取引所が2022年5月15日時点で把握している当社の株券等の分析状況等をもとに算出を行ったものです。なお、当社に純投資目的の報告書が提出された株式も含めて、当社独自で算定した数値は流通株式数 76,636 単位、流通株式時価総額 51 億円、流通株式比率 53.8%となります。

※3 当社は2021年11月16日付で普通株式1株を3株にする株式分割を行っております。

※4 今回、報告対象外ではありますが、2022年1月～5月における東京証券取引所の株式相場表に記載の売買代金をもとに当社が算出した1日平均売買代金は0.38億円となります。

2. 上場維持基準の適合に向けた取り組みの実施状況及び評価

当社は、2021年12月17日に公表した「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書（以下、計画書）」において、プライム市場の上場維持基準適合に向けた取り組みの基本方針を定めました。なお、2024年5月期までのプライム市場上場維持基準の達成に向けて、計画は着実に進捗しており、現時点では変更の必要性はないと判断しております。

<2021年12月17日公表の計画書>

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/3544/tdnet/2060930/00.pdf>

基本方針では、流通株式時価総額は「時価総額」の向上が当社の最重要課題と捉えており、基準充足に向け、中期経営計画の推進による業績の向上を目指しております。また、流通株式比率については、現在の水準から低下することの無いように施策検討を進めております。1日平均売買代金は「株式の流動性」向上を課題の一つと捉えており、業績拡大への注力や、IR活動の継続・強化に取り組む方針です。それら取り組みの実施状況及び評価は以下のとおりです。

1) 中期経営計画の推進による業績の向上

中期経営計画に基づいた事業活動を着実に実行し、この結果として、2022年5月期の業績は、売上高 82,905 百万円、営業利益 747 百万円（営業利益率 0.9%）となりました。ワンストップショッピングの高まりを受けドラッグストア事業の客数が減少したことで、売上高は計画の目標値に届きませんでした。不採算店舗の閉店を行ったことなどによる営業費用の抑制やクラウド POS 販売などリテール事業以外の収益化も貢献し、営業利益は計画の目標値を上回りました。上場維持に必要な利益水準の獲得に向け、着実に実績を重ねられたと評価しています。

<直前期の実績と 2021 年 12 月 17 日公表の数値計画（百万円，%）>

	2022年5月期 実績	2023年5月期 計画	2024年5月期 計画	2025年5月期 計画	2026年5月期 中計最終年度
売上高	82,905	91,400	97,300	106,000	120,000
営業利益	747	1,200	2,200	2,800	3,600
営業利益率	0.9	1.3	2.3	2.6	3.0

※2023年5月期の業績予想については、2022年6月22日の決算短信においても上記計画と同様の数値を開示しております。

2) 株式分割の実施

2021年11月16日に株式の流動性の向上及び投資家層の拡大を図る目的で1:3の株式分割を実施しました。この取り組みは、1日平均売買代金の増加にも繋がっていると評価しております。今後も中長期的な企業価値向上の観点で取り組みを検討していきます。

3) IR活動の継続・強化

IR活動の強化を通じて、ESGへの取り組みを含めた投資家向けの情報を充実させ、当社株式の流動性の向上及び投資家層の拡大に努めてまいりました。従前の機関投資家との対話以外にも、個人投資家向けの会社説明会を実施するなど、着実にIR活動の強化に向けた取り組みを実行できたと評価しております。具体的な取り組みにつきましては、以下のとおりです。

① 機関投資家との対話の実施

従前に引き続き、機関投資家へのアプローチと対話を継続しており、当社に対するご理解を高めていただけるよう努めております。

② 個人投資家向け会社説明会の実施

2022年2月に個人投資家向けの会社説明会をWebにて実施しており、更なる投資家層の拡大を図れるよう努めております。

③ 情報開示の充実化

決算短信などの英文情報開示をはじめとしたIRサイトの内容の充実化、サステナビリティ/ESG情報の開示の充実化により、幅広い投資家に向けての発信、ご理解を高めていただけるように努めております。

また、株主・投資家をはじめとする幅広いステークホルダーの皆様に、持続可能な社会の実現への貢献と中長期的な企業価値向上に向けた取り組みをお伝えするために、今年度中に新たに統合報告書を発行することを計画しております。

4) コーポレート・ガバナンスの強化

コーポレート・ガバナンス体制を強化し、経営の透明性と公平性を確保することがステークホルダーの皆様からの信頼に繋がり、企業価値向上にも資するものと考えております。当社は2022年8月10日公表のコーポレート・ガバナンス報告書において、プライム市場上場会社を対象とする項目を含めた全項目を実施しております。

<2022年8月10日公表のコーポレート・ガバナンス報告書>

<https://satudora-hd.co.jp/esg/governance/>

3. 上場場維持基準に適合していない項目ごとの課題と取り組み内容

上述のとおり、2022年5月15日時点において、当社がプライム市場の上場維持基準に適合していない項目は、流通株式時価総額となります。今回報告対象外である1日平均売買代金については、途中経過において、当社算出の数値では基準を充たしていますが、十分に上回る水準ではないため、引き続き増加に向けた取り組みを実施してまいります。

今後の課題と取り組みにつきましては、計画書からの変更はなく、2024年5月期までに上場維持基準を充たせるように各種取り組みを進めてまいります。

以上